

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山裕範
	全体計画	平成31年度 ~ 令和 2年度			経費区分	実施計画事業費		内線	026-245-0407			
事務事業名	14239 博物館施設整備事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費										
	事業	030000 博物館施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市立博物館基本計画(2018年12月策定)に基づき「まるごと博物館構想」の実現に向けて、現市立博物館を『機能分散型総合博物館』を構成する博物館本館及び分館とするため、大規模改修工事を実施する。						現市立博物館の耐震補強、消防法適合化及び劣化箇所改修等を行い、『機能分散型総合博物館』を構成する博物館本館及び分館として、市全体の案内（ガイダンス）や照会（レファレンス）対応および須坂の歴史概観、原始・古代、臥竜山などの自然等について展示する。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
緊急防災・減災事業 公共施設等適正管理推進事業 市立博物館大規模改修等工事設計業務委託	緊急防災・減災事業 公共施設等適正管理推進事業 市立博物館大規模改修等工事

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		12,944	210,669
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	11,600	189,400
	その他	0	3,000
一般財源		1,344	18,269
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	726.5	726.5
	嘱託職員	565.8	565.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,292.3	1,292.3
市民一人当たりの経費		0.3	4.1
総額		14,236.3	211,961.3

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	12,903	市立博物館大規模改修等工事設計業務委託12,903
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	41	手数料41

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,500	市立博物館大規模改修等工事監理業務委託5500 博物館展示パネル等製作業務委託5000
14節 工事請負費	200,000	市立博物館大規模改修等工事200000
18節 負担金補助及び交付金	112	水道事業分担金112
その他	57	手数料57

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市立博物館大規模改修等工事設計業務を委託した。工事完了後は、須坂市立博物館基本計画（2018年12月策定）に基づき、機能分散型総合博物館の「本館」（「分館」機能を含む）として、市全体の案内や照会の対応を行い、企画展の開催や須坂の原始・古代、臥竜山等の自然等について常設展示する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	利用者（市民等）の安全確保及び利便性の向上を図り、機能分散型総合博物館本館として整備するため、建物の耐震補強、消防法適合化及び劣化箇所改修等を行い、ロビー・ガイダンスルーム（無料スペース）や多目的ルームの設置、トイレの充実、エレベーターの新設等を計画した設計業務委託が実施できた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	交付税措置がある有利な起債（緊急防災・減災事業債及び公共施設等適正管理推進事業債）を活用して、設計委託業務が実施できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

交付税措置がある有利な起債を活用し、施設の耐震補強及び長寿命化を図るため、市立博物館改修等工事設計業務委託を実施した。改修工事の制約の中で、利用者（市民等）の安全確保及び利便性の向上を図り、機能分散型総合博物館本館として整備するため、設計内容について検討を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
機能分散型総合博物館の中核館として大規模改修を進める。		来館者の安全を確保し、快適性の向上を図ると共に、博物館基本計画に基づく機能分散型総合博物館の本館としての機能を発揮できるよう大規模改修を行う。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	